

令和6年 1月 吉日

保護者各位

市川市立第八中学校
校長 岡 良和

市川市立第八中学校 学校評価 結果報告

12月実施「学校運営アンケート」の結果を報告いたします。今回の結果を踏まえ、家庭・学校・地域の連携のもと、教育活動および教育環境の充実と質向上に役立ててまいりますので、ご理解ご協力くださるようお願いいたします。

なお、アンケート回収率は、57.8%(回答数339/生徒数588)です。ご協力に感謝申し上げます。

1 「結果の見方」について

- 表内の「評価項目」は、1「確かな学力」、2「豊かな心」、3「健やかな体」、4「信頼される学校」以上4つの項目ごとにまとめています。
- 「評価項目」は、市川市公立学校の共通項目に「学校で独自に設定した項目(項目1の4 項目2の4 項目4の6)」を加えています。
- 「評価結果(人)」は、評価項目の選択肢4, 3, 2, 1を選んだ合計人数です。
(選択肢: 4「そう思う 3「どちらか」というと「そう思う 2「どちらか」というと「そう思わない 1「そう思わない」)
- 「評価の平均値」は、評価結果をポイント換算し平均値を示しました。平均値が、2.5より増えると4「そう思う」に近づき、2.5より減ると、1「そう思わない」に近づくことを示します。
- 4「そう思う」と3「どちらか」というと「そう思う」を選択した人数を評価項目について肯定的評価の割合とし、前回結果(令和5年6月)と比較しています。

2 A:「好ましく感じていて継続してほしい点」・B:「物足りなく感じていて検討してほしい点」について

- 貴重なご意見を頂戴し、ありがとうございます。個々の評価項目を「内容」別に整理しています。
- 原則、記載内容をそのまま掲載し、内容が重複するものは、「同()件」と紹介しています。
- 個人・団体が特定できるような記載等、内容により、一部を要約・割愛しておりますが、頂戴したご意見の趣旨を精査したうえで、職員会議等で共有するとともに、対応について検討してまいります。

3 「学校運営協議会の意見」について

- 直近開催の協議会において「評価結果」について、ご協議いただいた内容を記載しています。

4 「現状の分析および学校運営の方向性」について

- 評価結果をもとに「学校運営協議会の意見」を踏まえ、教職員で協議したものを示しています。
- 個別案件については、学校全体で情報共有を図ります。そのうえで、「学校の役割」及び「学校ができること、できないこと」を総合的に分析・検討し、教育活動の中で改善してまいります。

1 「確かな学力」について

評価項目		評価結果(人)					評価の 平均値	前回と比較		
		4	3	2	1	計		6月	12月	
確かな 学力	1	お子さんは、授業がわかりやすいと言っている。	58	206	61	14	339	2.91	77%	78%
	2	お子さんは、わからないことを自分から調べるなど、いろいろなことに興味を持って学習に取り組んでいる。	67	141	97	34	339	2.71	61%	61%
	3	お子さんは、家庭学習の習慣が身についている。	91	119	85	44	339	2.76	62%	62%
	4	お子さんは、学校で個に応じた丁寧な学習指導を受けている。	47	168	101	23	339	2.71	63%	63%

No.	内容	A:「好ましく感じていて継続してほしい点」・B:「物足りなく感じていて検討してほしい点」
1	学習指導等	<p>A:たくさん先生の先生に覚えてもらい、臨機応変に対応して頂いた一年でした。提出物を出すと、必ず励ましのコメントを書いて下さる先生がいて、とても感激しました。子供もその教科はやる気が出たようです。先生からの何気ない一言で子供のやる気が出るものです。今後とも宜しくお願い致します。 B:雑談が多すぎて進み具合が遅い授業や、パワーポイントやレポート等の課題によって進み具合が遅くなる授業があり、試験範囲の学習が試験前日に終わることが多々ある。また、要点のまとめや自由研究など、先生からのフィードバックもなく、やらせっぱなしで、無駄に時間を取られる課題も多い。成績向上や受験勉強のために、授業の進め方や課題の必要性や意義について検討してほしい。 B:公立入試と、私立入試の指導と対策に力をいれてほしい。例えば公立なら思考力を問う問題や、学校設定検査の作文の個別対策などの指導。私立なら、過去問などの指導など。現状、ほとんどの子供達が値段の高い塾に通って対策をしている。塾に通わない家庭は、親が問題集や作文教室に通わせて対策するしかない。高校入試は何十年も前からの制度なのに、学校での入試の個別の指導や問題や対策がないのがとても疑問。授業も本来なら入試よりも、もっと前に終わっているのが理想。 B:個々に応じて勉強を見てくださると助かります。 B:何でも自主性に任せず家庭学習の習慣をつけるような宿題を出してほしい。単元の小テストをたくさん実施してもらいたい。 B:英語・数学だけでよいので夏休みなどに補修をしてほしい。 B:試験前にはもっと積極的に補習や質問を受ける時間を取って頂けたら助かります。 B:持久走の回数を減らしてほしい。 B:英語の授業も少人数で授業ができるよう検討してほしい。 B:班で行った学習のまとめを班員各々で分担していたが、締切が明日なのに全くやっていない人がいる。先生から連帯責任だと言われているからと、やらない子の分も自分の子が夜中に行っていた。代わりにやるのは相手のためにならないよと伝えましたが、先生に連帯責任と言われていて結局自分も怒られるなら、自分がその子の分もやったほうがましとのこと。一人で他の人の分までやっても先生の評価はやらない子と同じになるというような環境ならば、段々と前向きに取り組めなくなるだろうし、今の学校教育がそういうものなのかと落胆した。生徒への指導の仕方や伝え方をもう少し考えてもらいたい。 B:評定で1や2を取った生徒には、フィードバックをお願いしたいです。特に1の場合は、根本的な改善なのか、必ず理由を教えてください。親としてもなぜそうなったのか、分からなければ家でのフォローが合っているのかが分かりません。進路に目標があり、それに向かって頑張っています。希望する進学先に進むためにも、成績が関わってきます。努力していても思うような点数が取れない子もいます。家での声掛けも的外れでないか心配です。どの学習も生活態度も、将来のためのものであり、振り返りが最重要と思います。先生方の業務が大変お忙しいのは存じておりますが、できない子ほど本人が頑張れるような指導を少しでもよいので、していただけますようご配慮いただければ幸いです。</p>

2	進路指導	B:進路指導においてクラス担任によって指導の差があるようです。到達度テストや学力テストの成績に応じて現時点での大体の目安として学校名を教えてください先生は有難いですが、頑張りましょうと言うだけの先生もいらっしゃいます。進路は最終的には本人の意思で決めるべきものですが目安を言ってくれるのは目標設定として大切だと思うので、進路指導の方針として学年で固めておいて頂きたいと思いました。(同1件)
---	------	---

< 現状の分析及び学校運営の方向性 >

【全体分析】

■評価項目1～4の評価の平均値が、前回と同等であり、各項目の状況も同様の傾向を示しています。

【部分説明】

■文部科学省学習指導要領が示す『主体的・対話的・深い学び』の具現化を図るため、学力の三つの視点:『①知識・技能 ②思考力・判断力・表現力 ③学びに向かう力・人間性』を関連させて伸ばす学習活動を通して、生徒の『確かな学力』の向上と学び方の深化を引き続き目指してまいります。

そのために教育課程の工夫改善および教員の授業力向上に資するため、次のような研修と実践を重ねています。(1)毎年、全教科・領域で、授業研究会を設定し、教育委員会など外部講師を招聘して研究授業および協議会を実施する。(2)前期・後期のまとめとして、『生徒による授業アンケート』を全教科で実施し、教員各自が授業の効果を生徒の視点から検証する。(3)今年度9月に校内研修の一環で高木展郎氏:横浜国立大学名誉教授による学習指導要領に即した学習指導と評価の勉強会を実施。

参考といたしまして、近年の全国学力・学習状況調査の結果で、八中は、全国平均正答率を大きく上回る結果を示しております。(学校だより:R4No.11、R5No.10をご参照ください)

また、2021年度から、中学校では学習指導要領が全面実施となっており、それにともない、高校入試問題も単に知識を問う問題から思考力・判断力・表現力を問う問題に移行する傾向が見られています。進学塾に見られるような入試対策に特化した営業と同等の学習環境を用意することは、中学校の現状としては難しい面もございますが、これらのことに配慮して、教科により、最近の高校入試出題傾向を踏まえた指導や教材使用を一部行っております。

なお、各学年で実施している学力テストにつきましては、公立高校入試問題のシミュレーションに適したものを採用して実施しております。

■多様な生徒のニーズに合わせた『個別最適の学び』の提供が、現代学校教育の課題となっています。八中でも生徒が主体的に自分に適した課題を選択して学習するなかで、学校および家庭での学び方の改善につなげる力を養うための授業改善を核とする学習環境をさらに整備してまいります。

学んだことを復習する機会として「単元の変わり目や定期試験前などの授業で時間をとり、生徒の質問に応じる」「放課後等の学習相談日を設定する」「学習用タブレットで、ミライシードのドリルパーク(デジタルドリル:生徒が、個々のペースで、問題選択→解答→自動採点→繰り返し学習することが可能)を活用する」「技能教科では、放課後、実技テストや作品作りの救済時間を設ける」など、教科・学年それぞれで取り組んでおります。それとは別に、休み時間等、教科担任に質問に行き理解を深める生徒の姿もしばしば見られます。その他、補習の機会として放課後、まなびサポーターが個別指導する「校内まなび塾」を開設し、希望する生徒が利用しており、今後も随時登録・利用が可能です。

また、不登校傾向の生徒を含む異なるニーズの生徒の学習の場として、学習室(適応指導教室)、家庭(ICT等を使用した学習)、ふれんどルーム市川(市川市適応指導教室)など、選択肢を広げ、学習機会を増やす取り組みを重ねております。

■成績評価について、各教科で設定した評価基準により行っています。(詳しくは、「7月4日発行:学校だより絆No.6」をご覧ください)また、教科特性に合わせてガイダンスや定期試験の答案返却、作品提出の際などに評価のポイントを説明しており、フィードバックについても生徒の質問に応じております。なお、各教科で作品や提出物が滞ると評価・評定が下降するケースが多く見られます。未提出の生徒には、重ねて連絡し、提出を促すなど、救済措置を設けています。

■体育の持久走の授業回数は、例年10回前後行っています。学習の手順として「走ってみて現状確認する」「走り方・ペース配分等をバディと協力して学習を重ねる」「学習効果を確認する」といった段階を踏むために必要な回数を行っています。

■八中では、今年度、第2学年数学で、学級を二つのグループに分けた少人数授業を実施しており、少人数の良さを生かした授業を行っています。少人数授業を行うには、県の制度に基づく『加配教員の配置』が必要になります。配置人数には、制限があり、英語で配置するためには、数学の配置を英語に替えて県に申請し、新たに条件審査をクリアするなど人事上の課題もあります。引き続き、各教科の生徒の学習状況を考慮した『加配教員の配置』を検討してまいります。

■進路指導について、毎年度計画的に進めるとともに、第3学年では、進路希望調査および学級担任との相談内容をもとに、学年職員・各学年主任・関係部活動顧問他、関係職員、管理職により、組織的に進めております。また、学力テスト(到達度テスト)の結果をもとに志望校に合った成績に近づいているかどうか、目安を示すことが可能です。

< 学校運営協議会の意見 >

◇授業がわからないと感じている生徒を減らす手立てとして、教師が、わかりやすい授業を行うための研修努力を期待したい。

◇放課後の『校内まなび塾』で個別指導・補習を行っているが、利用者が少ない。利用が増えると学びサポーターが増えて補修機会がさらに充実するなど、需要に供給がついていくのではないかと。家庭で、利用を勧めたり、三者面談で、利用の相談をしたりするなどしてはどうか。

◇成績評価では、学力の三つの観点の評価が、全て「C」の場合に、評定が「1」となる。教科担任は、できるだけ、1を付けないように努力している。評価に疑問がある場合は、「何が課題で、どうしたら改善するか」個別に教科担任に相談し、見通しを持つべき。授業中など、「この部分が、わからない」と言いやすくなるとよい。不明な点を質問する機会を増やすなど、工夫してはどうか。

◇学校は、受験対策に偏らず、本来は、人間形成に繋がる学びを重ね、心を通わせる経験を積むことが望ましい。

2 「豊かな心」について

評価項目		評価結果(人)					評価の 平均値	前回と比較	
		4	3	2	1	計		6月	12月
豊かな心	1	133	157	40	9	339	3.22	86%	86%
	2	173	136	24	6	339	3.40	93%	91%
	3	187	140	7	5	339	3.50	96%	96%
	4	200	126	10	3	339	3.54	97%	96%

No.	内容	A:「好ましく感じていて継続してほしい点」・B:「物足りなく感じていて検討してほしい点」
1	教育相談	A:生徒一人ひとりに合わせた支援、対応を学校全体でして頂いている点。A:とても面倒見がよく、生徒一人ひとりに丁寧に向き合ってくれる。A:担任をしてくださっている先生は、娘に寄り添い、かと言って必要以上に依存しない絶妙な距離感で関わってくださり娘はもちろん、私も絶大な信頼感を持っています。いつも感謝していますし安心して娘を学校に行かせることができます。本当にありがとうございます。A:担任の先生は、子供の事で相談すると、すぐに動いてくださり、本当に助かっています。これも普段の子供との信頼関係が出来ているお陰だと感じております。ありがとうございます。A:子どもに特性がありますが、担任の先生が、親身になって話を聞いてくださっていると感じます。また、子どもに対してもたくさんではなくても、様子を気にして声かけをしてくださっていると思います。義務教育では様々な生徒に対応されることと思います。全ての先生方に、今後もダイバーシティの概念を持って指導にあたっただけならば、生きやすい世の中になっていくのではと思います。よろしく願いいたします。B:不登校児童に対する対応がいまいち

	見えない。各学年一定数がいると聞いているが、どのような対応しているのか、今後のためにも知っておきたい。また1年生の部活の退部が目立つように感じる。(同1件)
生徒指導	<p>A:いつも子どもの至らぬ点をフォローして頂いており、感謝しております。A:担任の先生に対してしかわかりませんが、子供達が円滑に学校生活を送れるように努力してくれているのを感じます。いつもありがとうございます。B:何か問題が起きたときに両者や周りから事情を確認するでもなく、一方的に決めつけて指導する先生もいると聞き、残念に思います。B:学校内で友達同士の派閥などがあるようなことを子供が知っている。A:生徒会と学校側で話し合い、決め事をする(校則や生徒の希望、改善点等)学校側も、ちゃんと受け止め、より良い方向へ前進しようとしてくれていると思う。B:校則の見直しをご検討いただけたら助かります。(子どもが自分で考えて理解できる、納得できる、時代に合っている校則になるとよいなと感じます。)A:学校訪問の際、沢山の生徒が挨拶してくれる点。B:時々学校に行ってしまうのですが、生徒があまり挨拶をしなくなりましたね。以前は、すれ違う生徒1人1人が元気に挨拶をしてくれて、初めの内は慣れずにビックリしました。挨拶を返すのが大変でした。学校で徹底されていた様に思います。今は特に1.2年生が、こちらから挨拶しても、返ってこない事が珍しくなくなりました。廊下や階段付近で広がって話をしているので、すみません、通ります!と言って通る事の方が多いです。言う前に気遣いたり、規律正しい八中生は素敵でしたので、保護者同士で、八中は大分変わったね。と話しています。日本人の持っている素敵な感覚ですので、磨いてあげて欲しいと思いました。</p>

< 現状の分析及び学校運営の方向性 >

【全体分析】

■前回同様、4項目すべての評価が、90%前後の高水準で推移しており、評価結果では4「そう思う」の割合が高く「評価の平均値」を押し上げています。思いやりや社会性など、『豊かな心』を育む教育活動の成果に加えて、家庭・地域のご理解ご支援の賜物と感謝申し上げます。

八中では、生徒会活動をはじめ、実行委員会活動、学級活動、部活動等により、生徒の主体性を伸ばすとともに自己肯定感を高める教育活動を重視しております。特色のひとつとして、例年「いじめゼロキャンペーン」を展開し、SNS等によるいじめを題材にした演劇をオーディションで選ばれた生徒が俳優として上演したのち、全校道徳で班別・学級討議を実施するなど、日常の生徒指導と合わせ、いじめゼロの啓発を推進しています。また、毎学期、教育相談アンケートを実施し、個別面談を設定するなど、生徒個々の悩みや心配に寄り添うための取り組みを継続しております。

【部分説明】

■服装・頭髪など生徒の身だしなみについては、望ましい社会性を育むとともに将来のリクルートスタイルや高校入試の面接試験の実情も視野に入れ、日常から生徒の意識が高まるよう指導しております。

昨年度、校則について、近年の多様性の尊重が進む社会情勢に配慮し、検討・見直しを行いました。検討の際は、生徒の意見集約をもとに、各学級代表生徒と担当教員による協議を重ね、規則の必要性などを確認したところです。また、八中指定バッグに加えて市販リュック使用を可能としたことで、「家族で使いまわせる」「習い事に持っていける」「中学卒業後、高校でも使える」など好評をいただいています。

■あいさつ・言葉遣いをはじめ、望ましいコミュニケーションスキルの育成に取り組んでいます。一例をあげると、登校時間帯に校門、生徒昇降口で、教職員が生徒に、あいさつ・声かけし、積極的なコミュニケーションを図るなかで、一日が始まるのが日常となっております。

■心身の不調・健康面などの心配事や配慮が必要なことについての相談を、カウンセラー、養護教諭をはじめ、教職員で随時受け付けています。そのなかで、保護者・生徒から個々に状況を伺い、適切な対応をとるようにしておりますので、遠慮なくご相談ください。なお、教育関係機関の相談窓口は多岐にわたり、ホームページ等でお知らせしています。最近では、『冬休みのしおり』に整理してお知らせしておりますのでご参考ください。

■不登校傾向の児童生徒は、増加傾向にあり、昨年度の全国調査では約29万9千件(過去最多)と報じられています。八中でも不登校傾向生徒は、少なくない状況であり、不登校の予防および対応として次

のような取り組みをしています。①不登校傾向生徒の状況把握のため毎週定例会議を実施し、個々のケースについて対応・改善を図る(会議には、各学年担当者、不登校対策担当者、カウンセラー、生徒指導主事、特別支援教育コーディネータ、養護教諭、管理職が出席) ②教室に入りづらい生徒のための学習室(適応指導教室)を設置し、学習室の時間割に合わせて担当教員を配置し学習指導を行う ③オンライン授業配信等、家庭学習の機会を広げる ④市川市適応指導教室(ふれんどルーム市川)と連携し、生徒の学ぶ機会を広げる。

< 学校運営協議会の意見 >

◇学校に行く機会が多いが、生徒も教職員も良くあいさつしてくれる。大人の方からあいさつして啓発することが大事である。思春期の中学生は、一時的にあいさつに消極的になることもよくある。
 ◇保護者のコメントから、先生方の教育相談の努力の成果が伝わってくる。
 ◇学校生活への意欲・モチベーションは、小学校からの積み重ねが生きてくる。一例として、学級新聞が良くできており、そこから生徒の思いが伝わってくる記事が多い。
 ◇世代や地域を越えて人と人の交流を増やすことが、コミュニケーションスキルの向上につながる。例えば、『マイクラフト』で他校と交流するなど、オンライン活用の可能性を広げてはどうか。
 ◇八中に限らず、中学一年生時は、入部した部活のスポーツ・文化活動が、自分に合わないことがわかり、退部、転部するケースが珍しくない。やりたい部活が見つからない生徒は、学校支援地域ルーム『放課後カルチャー』に、やりたい活動をリクエストしてほしい。ボランティア指導者をお願いして、希望をかなえたい。国の動きで、スポーツ・文化活動が、学校から地域に移行する流れが始まっている。市川市総合型スポーツクラブなど、自分に合ったスタイルで活動することが、今後増えていく見込みである。

3 「健やかな体」について

評価項目			評価結果(人)					評価の 平均値	前回と比較	
			4	3	2	1	計		6月	12月
健 や か な 体	1	おさんは、すすんで体を動かしている。	123	96	86	34	339	2.91	58%	65%
	2	おさんは、自らの安全(交通事故・けがなど)に気をつけて生活している。	152	173	11	3	339	3.40	98%	96%
	3	おさんは、規則正しい生活習慣(睡眠・食習慣など)が身につけている。	104	151	62	22	339	2.99	75%	75%

No.	内容	A:「好ましく感じていて継続してほしい点」・B:「物足りなく感じていて検討してほしい点」
1	健康 安全	B:なかなか難しいとは思いますが、体育館に冷房が入ると、室内部活は本当に助かると思います。熱中症が本当に心配でした。 B:体育館にヒーターを設置してほしい。 B:給食時間の短さ

< 現状の分析及び学校運営の方向性 >

【全体分析】

■生徒の健康増進と体力向上について、「評価の平均値」で3項目平均 3.1(前回 3.08)とくに項目1で、向上傾向が見られます。生徒のスポーツ機会充実のため、体育授業や運動部活動に加え、昼休みの外遊びの啓発を体育委員会が続けています。また、望ましい生活リズムの習慣化について、保健給食委員会による「生活習慣チェック」や「アウトメディアデー」活動で調査・啓発を行っております。

【部分説明】

■浦安市では、以前から小中学校体育館にエアコンが設置されています。また、船橋市をはじめ近隣市でも来年度設置見込みの報道が見られます。市川市では、現状小学校10校、義務教育学校1校で体育

館にエアコンが設置されていますが、今後、全校に設置が進められると伺っています。また、美術室など、特別教室のエアコン設置要望を繰り返し行っているところです。

■八中では、給食時間(配ぜん、食事、片付けまで)を35分で行っています。近隣小学校では45分間、市内中学校のほとんどは30分から35分間で行っております。中学生年代では、生活習慣の経験値から、準備・片付け・食事にかかる時間が、小学生(とくに低学年児童)と比べ、短く済むのが一般的です。また、授業時間・給食時間に続く昼休み(15分間)・放課後部活動などの活動時間を確保する視点から考えると、給食時間を長くするために、他の時間を削る必要が生じるため、給食時間の拡大は難しい状況です。

< 学校運営協議会の意見 >

◇体育館のエアコンは、避難所使用の優先順位からみて、小学校から先に整備が進むとみている。他に望まれるのは、エレベーターなど、校舎施設のバリアフリー化である。

◇昼休み時間の確保の点から見ると、食事時間は、妥当である。

4 「信頼される学校」について

評価項目		評価結果(人)					評価の 平均値	前回と比較		
		4	3	2	1	計		6月	12月	
信頼される学校	1	学校は目指す子どもの姿や学校経営方針について保護者に理解されるよう努めている。	67	230	36	6	339	3.06	86%	88%
	2	学校は、保護者や地域の方とともに、子供を育てる取組をすすめている。	64	217	51	7	339	3.00	85%	83%
	3	学校は、保護者の思いや願いに対して適切に対応している。	66	223	41	9	339	3.02	86%	85%
	4	学校は特色ある取組や教育をすすめている。	48	181	90	20	339	2.76	69%	68%
	5	学校は、子ども一人一人に適切な指導や支援を行っている。	57	191	75	16	339	2.85	77%	73%
	6	学校は、便りやホームページ等で、学校の様子を十分に保護者に伝えている。	131	185	19	4	339	3.31	92%	93%

No.	内容	A:「好ましく感じていて継続してほしい点」・B:「物足りなく感じていて検討してほしい点」
1	情報発信・情報共有	A:大変なことと重々承知した上ですが、ブログは本当に親子共々ありがたいと感じています。部活動では校長先生が日曜日でもあちこち行ったださり、子供たちの様子を載せてくださったこと、感謝しています。載せていただくことで励まされたことも何度もあります。なかなか感謝を申し上げる機会がありませんでしたが、大切な思い出をたくさん持って卒業を迎えることは親子共々大きな喜びです。ありがとうございます。(同1件) A:ブログにて日々の児童の生活を載せて頂いてる事、とても良いと思います。校外学習の際も、しょっちゅう更新されたり、とても楽しみに拝見していました。毎日の給食の紹介も、今日はこんなのを食べてるのかあと見ることが出来、これからも続けて欲しいです。 A:校長先生の八中ブログは、普段見られない日常の様子が見られ、保護者も楽しみなのはもちろん生徒本人も写真をととても楽しみにしています。 A:子どもが校長先生に時々会うと言っていました、校内を良く見せてくれているのかと思います。ブログ等の発信もありがとうございます。 A: 八中 HP に日々の学習状況や生活の様子など、学校の事以外にも部活動の事なども割と頻りにアップされている事。楽しく拝見しております。(同7件) B:相談したい場所がよく分からないのもっと積極的に広報してほしいと感じました。 B:子供があまり話してくれないが故に学校のことをもっと知りたいとも思いましたが、中学生とはこういう物なのかなとも思いますので、何かご迷惑をおかけした等の連絡以外は今のままで大丈夫です。

2	行事	A:鶴風祭を市川文化会館で行うこと、学年全体合唱があれば尚よい A:鶴風祭を文化会館で行うという事は子ども達にとっても良い経験になると思います。 A:校長先生が生徒と一緒に行事を盛り上げてくれる点 A:クルックフィールズでの校外学習は特色があり、子どもにとって学びが多く、これからも続けてほしい。 B:鶴風祭と小学校の参観日が重なっていた。同じブロック内の学校で行事が重ならないようにしてほしい。(小学校側にも意見を伝えました) B:保護者会を学期ごとに開催して頂きたい。クラスの様子や担任の教育方針などを伺う機会が、小学校に比べて極端に減ったと感じる。PTA 役員にならないと学年会に出られず、情報が入ってこない。 B:体育祭での競技内容が少し活気が無い様に思います。 B:学校公開で、担任の先生の授業を一度も見たことがないので、見られるように時間割で配慮してもらえると嬉しかったです。
3	安全	A:欠席連絡の仕方などはわかりやすくありがたいです。 A:グラウンドなど、校内の環境整備にあたって下さっていると聞きました。(同1件) B:目には見えない部分で対策があるのかもしれないが、不審者等の侵入がしやすいように思える点
4	地域活動	A:ボランティア活動に参加させていただきとても良い体験になったようです。これからも継続お願いします。 A:特にありませんが、地域との取り組みという点はあまりよくわからないので、取り組んでいるところをよく知りたいです。
5	部活動	A: 子供が運動部に入っていますが、お忙しい中、顧問の先生方が他校に練習試合に連れて行ってってくれるなど、一生懸命に指導していただいて感謝しています。 A:部活の回数や練習試合が多いのはいいが、子供が塾に通えなかったり、疲れて帰ってきて寝てしまって、忙しそう。 B:子供がとある部活に入っていますが、毎月の部活予定表が遅すぎます。私事ですが、週末も仕事のため仕事がない週末は家族で出かけたり子供の病院の予約を取ったりしたいと思っていますが、早いうちから決められずいつもギリギリに出される予定表を見て慌てて決めたり、時にはキャンセルしたりと困っております。先生方もお忙しいのは承知しておりますが、どの部活も統一でせめて毎月 20-25 日までには翌月の予定表を出すなど改善をお願いします。 B:諸活動停止期間を、試験 5 日前ではなく、せめて 7 日前からにして頂けたらと思います。個人的に 5 日前まで部活があるのはギリギリ過ぎると感じます。
6	その他	A:学校側は、大変協力的にしてくださっています。ありがたいと思います。八中を 10 年前に卒業した親御さんと話す機会があり、体制が凄く良いと感じました。先生方の継続的努力に感謝いたします。 B:トイレを新しくしたのなら早く使用できるようにしてほしい B:2年生からクラス替えがなく、2年間同じクラスという事に、とても不安を感じます。トラブルなく生活出来れば良いですが、そうではない可能性もありますし、それならば学年毎のクラス分けにしてほしいです。(同2件) B:上着をかけるハンガーラックを各クラスに冬は置くことを検討して欲しいです。

< 現状の分析及び学校運営の方向性 >

【全体分析】

■評価項目1～6について、昨年度から継続して高い水準で推移しています。本校学校教育活動へのご理解ご協力について、改めて感謝申し上げます。「学校経営方針:信頼される学校」の項目では、学校・家庭・地域連携によるチーム学校体制・八中ブランド力の強化のため、「ICT・各種たよりによる効果的な情報発信と学校・家庭・地域のネットワーク強化」「教職員の危機管理能力の強化と不祥事根絶」「コミュニティ・スクールの充実」「ブロック小学校および高校との連携強化」をお示ししております。そのために、より一層の家庭・学校・地域の連携・協働を図り、さらに充実するよう努力してまいります。

【部分説明】

■『八中ブランド力強化』の手段の一つとして、効果的な情報発信を行っています。最近の八中ホームページアクセス数は、1日平均で、9月:1662/日、10月:1779/日、11月:2677/日、12月:3064/日、1月:3960/日と増加しており、生徒数約600名の学校としては、比較的高い数値で、生徒・保護者・地域等、関係者の学校への関心の高さを示しています。

八中ブログでは、「学校の魅力発信」「お役立ち情報」をテーマに記事をアップしております。記事ごとに『いいね！』マークをタップするとカウントアップされますが、『いいね！』アップで、生徒をはじめとする『チーム八中』関係者全体の自己肯定感、一体感、帰属意識の向上につながるものと考えております。(12月学校だよりNo.12, No.13「いいね！ランキング」をご参照ください)

■年間行事を計画する際、中学校の行事で、修学旅行と鶴風祭(合唱祭)は、新幹線団体列車指定や文化会館予約の関係で前年度以前に決まっています。また、準備日程の関係で、修学旅行、体育祭、定期試験の期日を調整します。それと並行して、近隣小学校との行事日程の重なりを避けるため、学校間で相談しております。八中ブロック(鶴指小、平田小、大和田小)に加え、六中ブロックの稲荷木小とも相談し、体育祭と小学校運動会の重なりを避けられた年度もありますが、毎年度の状況が異なり、やむを得ず重なった場合は、大変申し訳なく思います。保護者参観を伴う行事を中心に、引き続き学校間の行事調整に配慮してまいります。なお、「学級保護者会と三者面談が両方あると保護者の負担が増える」「学級保護者会を開くが、参加者が極めて少ない」といった課題を考慮するなど、学校行事精選の観点からも保護者関連行事の実施について検討してまいります。

■校舎西側トイレは11月中に工事を終えて、12月1日から使用開始しております。(12/1:八中ブログをご参照ください)

■市内中学校のクラス分け作業の手順は、小学校の引継ぎ資料をもとに、様々な視点を考慮して第1学年を編制します。次に、中学入学から一年間経過した状況で、第2, 第3学年と二年間の持ち上がりを想定した編制を行っています。その理由として、日常生活及び体育祭や鶴風祭などの学校行事で、第2学年の経験や反省をもとに「来年は、この仲間と、より良い体験をしよう」という改善のモチベーションにつながることで、第2学年から、修学旅行実行委員会組織をつくり、総合・学活の授業で事前学習と準備を並行して進めることなどがあります。しかし、第2学年の在籍人数変動のため、学年クラス数の増減があるなど、必要に応じてクラス分けを行う場合もございます。

< 学校運営協議会の意見 >

◇八中ホームページ:八中ブログは、学校の魅力発信及びお役立ち情報提供としての役割を効果的に果たしている。地域・保護者が、学校に信頼を寄せるために重要なツールである。

◇八中の特色として、生徒の校外ボランティア活動が、盛んになってきた。コロナ後、「ボランティアの機会を増やしたい」と、学校からの要請に応じて各クラスに募集ポスターを掲示したところ人数が集まった。最近、『大和田ふるさと祭り』や『平田盆踊り』などのボランティアで力を発揮するとともに地域のお年寄りと交流するなど、成果をあげている。今後も『中学生パワー』が、地域に必要である。

◇アンケート回収率が、57.8%(回答数339件/生徒数588名)で、コメント記入数(63件)を見ると、「A:」より「B:」の数が多いことから、肯定的な意見の方は、「学校におまかせ」という気持ちで回答しないことが考えられる。回収率が高まれば、評価結果の数値も上がるだろう。

学校運営協議会は、公開している会議であり、傍聴が可能です。傍聴者が増え、学校運営についてご理解を深めていただくことが、学校教育活動の質向上に有益と考えておりますので、積極的な傍聴参加をお願い申し上げます。会議日程および傍聴については、学校(担当:教頭)までお問い合わせください。

アンケートのご協力ありがとうございました。引き続き、学校経営方針に基づき、

『生徒の笑顔: 😊わかった! 😊そうか! 😊いいね! 😊すてき! 😊やった!』

を増やすため、学校教育活動を推進してまいります。